

2017年9月20日

## 当院で発熱時のけいれんのため救急搬送され、 救急外来で脳波検査を受けられた患者さんへ

課題名： Nonepileptic twilight state with convulsive manifestations の典型症状と鑑別疾患に関して

研究者：脇研自（倉敷中央病院小児科）、秋山倫之（倉敷中央病院小児科、岡山大学病院小児神経科）、宮原 宏幸（倉敷中央病院小児科、岡山大学病院小児科）

### ◆研究の目的と概要◆

当院では、有熱時けいれん後、Nonepileptic twilight state with convulsive manifestations（NETC）と呼ばれる非けいれん性てんかん重積様の状態となる症例について、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

### ◆対象となる患者さん◆

2010年1月から、2016年12月までの間に、有熱時のてんかん重積が疑われ、脳波検査によってNETCであるか否か、確定診断された方。持病として、てんかんがある方や髄膜炎と診断された方は除きます。

### ◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、身長・体重や来院時の呼吸数、心拍数、血圧、来院後に行われた治療内容、各種検査の結果

### ◆研究方法◆

本研究はカルテ情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
小児科 研究責任者 脇 研自

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）  
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明